

1 北九州市行財政改革大綱（平成9年8月策定）

基本姿勢：「削るべきところは削り、強めるところは強める」

基本理念：「政策形成機能が高く、簡素で効率的な行財政システムの再構築」

特徴：5つの視点...「公と民との役割分担の見直し」など改革の方向性

8つの目標...財政指標や組織・機構等の見直しなどに数値目標

125の実施項目...5つの視点に沿った具体的取り組み項目の明示

取組期間：【集中取組期間】平成8～10年度 その後も継続した取り組み

進行管理：毎年度予算、決算に合わせて具体的取り組みを取りまとめ、公表

全取り組み項目数 125項目（集中取組期間[H8～H10]）

見直し効果（見込み） 平成8年度～10年度（3年間）で約160億円

2 北九州市新行財政改革大綱（平成16年4月策定）

基本理念：「都市経営の視点に立った新たな行財政システムの構築と持続的な変革」

取組期間：【集中取組期間】平成16～18年度

【中長期的取り組み】平成19年度以降

進行管理：毎年度予算、決算に合わせて具体的取り組みを取りまとめ、公表

新行革大綱のポイント

すべての事務事業について行政の守備範囲を見直し、行政が真にすべきこと

は何かを徹底的に追求

その結果、行政の関与が必要ないものは廃止や民営化、関与が必要なものも

実施主体の民間部門（市民、NPO、民間企業等）への移管を推進

見直しを通して、「究極の行財政改革」とも言うべき「行政体制の最終型」

を視野に入れつつ、中長期的な視点で取り組む検討課題も具体的に明示

全取り組み項目数 223項目（内、集中取組期間[H16～H18]179項目）

見直し効果（見込み） 平成16年度～18年度（3年間）で約200億円